診療部門

■ 宮田病院
〒823-0003　福岡県宮若市本城1636
TEL 0949-32-3000 FAX 0949-32-2997

■ 福岡みらい病院
〒813-0017　福岡県福岡市東区香椎照葉3丁目5-1
TEL 092-662-3001 FAX 092-662-3002

■ 金隈病院
〒812-0863　福岡県福岡市博多区金の隈3-24-16
TEL 092-504-0097 FAX 092-504-1502

■ 新吉塚病院
〒812-0041　福岡県福岡市博多区吉塚7-6-29
TEL 092-621-3706 FAX 092-622-8752

■ にしくまもと病院
〒861-4157　熊本県熊本市南区富合町古閑1012
TEL 096-358-1118 FAX 096-358-1099

■ どうどうクリニック
〒146-0081　東京都大田区仲池上1-31-13
TEL 03-5747-2333 FAX 03-5747-2888

■ ピーエスクリニック
〒812-0025　福岡県福岡市博多区店屋町6-18 ランダムスクウェア8階
TEL 092-283-7777 FAX 092-283-7770

臨床研究部門

■ 墨田病院
〒130-0004　東京都墨田区本所1-29-1 ランダムスクウェア本所ビル
TEL 03-5608-7276 FAX 03-5608-9536

■ 博多クリニック
〒812-0025　福岡県福岡市博多区店屋町6-18 ランダムスクウェア5階
TEL 092-283-7701 FAX 092-271-3010

■ 福岡みらい病院　臨床研究センター
〒813-0017　福岡県福岡市東区香椎照葉3丁目5-1
TEL 092-662-3608 FAX 092-662-3612

■ にしくまもと病院　臨床薬理センター
〒861-4157　熊本県熊本市南区富合町古閑1012
TEL 096-358-1116 FAX 096-358-1191

■ ピーエスクリニック
〒812-0025　福岡県福岡市博多区店屋町6-18 ランダムスクウェア8階
TEL 092-283-1115 FAX 092-283-1138

管理本部

■ 福岡事務所
〒813-0017　福岡県福岡市東区香椎照葉3丁目5-1
（福岡みらい病院別館C棟3階）
TEL 092-662-3551 FAX 092-662-3620

■ 東京事務所
〒146-0081　東京都大田区仲池上1-31-13
TEL 03-5747-2055 FAX 03-5747-3801

介護福祉部門

【宮田病院併設】

■ 宮田病院ケアプランサービス
TEL 0949-34-1400 FAX 0949-34-1301
■ みやわか訪問看護ステーション
TEL 0949-34-1300 FAX 0949-34-1301
■ みやわかヘルパーステーション
TEL 0949-34-1300 FAX 0949-34-1301
■ 宮田病院附属山桜デイサービス
TEL/FAX 0949-32-9555
■ 宮田病院附属サービス付き高齢者向け住宅 山桜
TEL 0949-34-5600 FAX 0949-34-5601

【福岡みらい病院併設】

■ 福岡みらい病院ケアプランセンター
TEL 092-662-3777 FAX 092-662-3771
■ 福岡みらい病院訪問看護ステーション
TEL 092-662-3770 FAX 092-662-3771

【金隈病院併設】

■ 金隈介護プランサービス
TEL 092-504-0097 FAX 092-504-0069
■ かねのくま訪問看護ステーション
TEL 092-504-0251 FAX 092-504-0255
■ 介護老人保健施設 楽陽園
TEL 092-504-2671 FAX 092-504-2708
■ 介護医療院 かねのくま
TEL 092-504-0097 FAX 092-504-1502

【新吉塚病院併設】

■ 介護老人保健施設 光
TEL 092-629-1631 FAX 092-629-1635
■ すまいるプラン博多
TEL 092-621-3817 FAX 092-621-3818
■ 訪問看護ステーション吉塚
TEL 092-626-9777 FAX 092-626-9775

【にしくまもと病院併設】

■ にしくまもと病院指定居宅介護支援事業所
TEL 096-277-1530 FAX 096-357-0085
■ 訪問看護ステーションきんもくせい
TEL 096-358-7355 FAX 096-357-0085
■ 通所リハビリテーションれんげ草
TEL 096-358-6030 FAX 096-357-0085
■ サービス付き高齢者向け住宅（特定施設）
ホスピタウンハウス
TEL 096-227-7287 FAX 096-357-0085

More Information

医療法人相生会 臨床研究部門 ホームページ
https://souseikai-crd.com

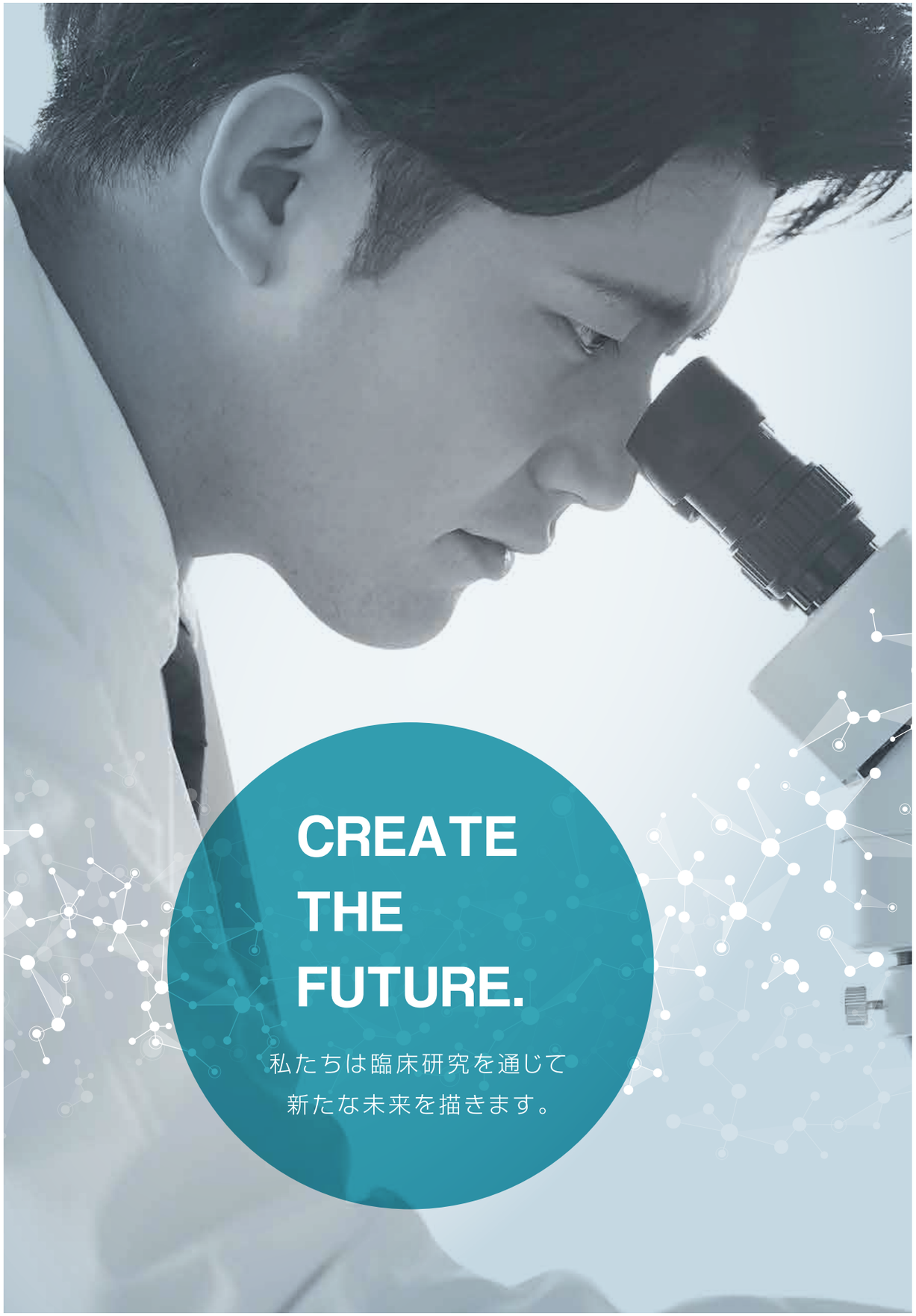
SOUSEIKAI | LinkedIn

医療法人相生会
臨床研究部門

LTA

次世代を守る、安全性と有効性の高い
医薬品開発のために

医療法人相生会 臨床研究部門



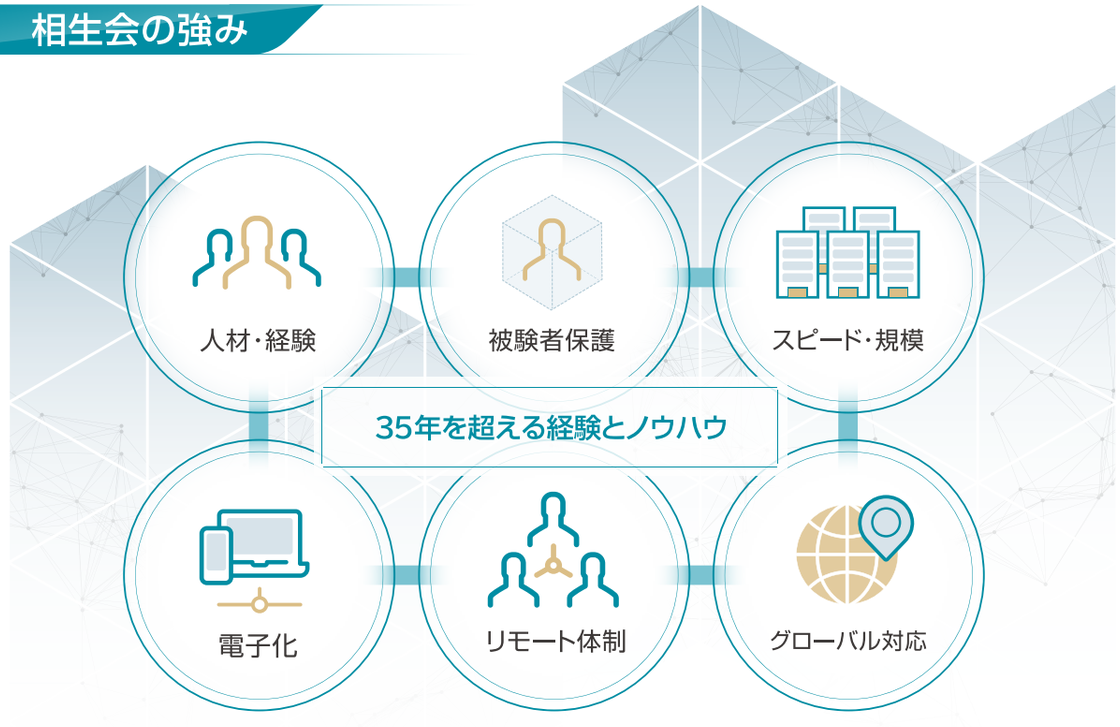
私たちが見ているのは未来です。

日本における臨床研究（治験）のパイオニアとして

新しい医薬品や医療機器が世に出るまでに長い歳月が必要とされますが、その重要なプロセスとして安全性と有効性を確認する「臨床試験」があります。なかでも、厚生労働省からの承認を目的として行う臨床試験である「治験」は多くの方々の理解と協力、科学的知見、および十分な専門知識と経験を持つ専門機関が必要とされます。

私たち相生会は、医療法人として長年多くの医療機関の開設、また、幅広い介護福祉を通じて社会貢献を目指してきましたが、私たちが想い描く「真の健やかなる社会貢献の未来」は、ここからが始まりです。

相生会の強み





EVIDENCE FIRST

正確で矛盾のない
エビデンス提供のために

常に最良を追い求め続けた長年の経験

私たちは35年以上にわたり臨床薬理の業界に携わり、今までに約5,500以上の臨床試験を実施してきました。高い安全性を確保し、かつ正確な結果を導き出すよう試験を行うためには人材の確保が不可欠です。相生会には、経験豊かで熟練した専門のスタッフが約270名在籍し、長年培ってきたノウハウに基づいた試験実施を行います。

また、相生会では、試験が適切に行われるよう被験者やスタッフの動線を考慮して設計された5つの医療機関を所有しており、効率的かつ安全面も重視された環境での試験実施が可能です。あらゆる面において常に最良を追い求め続けた相生会ならではのノウハウで、質の高いエビデンスを提供致します。

実施医療機関





eSource対応試験の実施

eSource等のITシステムを導入。リアルタイムにデータの提供が可能。

臨床試験受託事業協会に加盟

照合システムを利用し、二重登録などの被験者の安全確保にも配慮。

リモート体制の強化で業務効率化

遠方との会議やデータの確認はTV電話・リモートシステムで効率的に。IRB*にも採用。

＊ 臨床試験審査委員会

厳密な国際基準等も遵守

ICH-GCP、ALCOA-CCEAのトレーニングを受け、国際基準等を徹底遵守。

代表的な臨床試験実績

臨床試験 実績

相生会で特に実績のある主な領域やその評価法の一例です。

中枢神経

- 脳波検査
- 脳脊髄液採取（脊椎穿刺）
- 神経学的検査
- 心理学的検査
- うつ病検査・自殺リスク検査

循環器・血液

- 24時間血圧計（ABPM）
- 12誘導ホルター心電図測定
- 心エコー検査
- TQT試験
- 血小板凝集能検査
- 出血時間検査

婦人科、泌尿器

- 月経周期に合わせた医薬品投与
- 経腟エコー
- 乳房エコー
- 細胞診
- ウロダイナミクス検査

内分泌代謝、消化器、呼吸器

- グルコースクランプ
- ブドウ糖負荷検査
- 胃内pHモニタリング
- 内視鏡検査
- 気管支肺胞洗浄（BAL）
- 気管支鏡下マイクロサンプリング法（BMS）
- 肺機能検査

皮膚、眼科

- 皮膚薬物動態学的試験（DPK）
- パッチテスト
- 皮膚刺激性評価
- 視力・視野検査
- 眼圧測定
- スリットランプ
- 眼底写真
- 網膜電位図（ERG）

その他

- X線、DXA、CT、MRI検査
- マスバランス試験
- 細菌培養
- 深部体温測定
- フローサイトメトリー
- PBMC
- 原薬調製

臨床研究 実績

小児から高齢者、患者や喫煙者、1,000例以上の規模まで幅広く対応致します。



介入研究

- タバコ試験
- 食品試験（病者用食品、特定保健用食品 等）
- ワクチン試験（成人、小児、高齢者）
- 医療機器試験
- マイクロドーズ試験
- カプセル内視鏡
- 痛み評価（Cold Pressor Test）
- 皮膚血流計評価

観察研究

- ワクチン観察研究
- タバコの観察研究
- CSF（脳脊髄液採取）観察研究
- 製造販売後の観察研究
- 臨床検査値における民族差の観察研究

※実績は一例です。詳しくはお問い合わせください。

医薬品レベルのエビデンスを御社のビジネスにも。

相生会の豊富な実績とノウハウをご活用いただけます。

私たちが長年培ってきたものを、今の時代に合った形で社会に貢献できることの一つとして「ヘルスケアマーケティング」があります。近年の健康志向ブームの裏では、製品に関わるエビデンスのニーズが高まっており、同時に、規制面から企業は効能を謳えない販促広告の課題等もあります。

・効能を謳えない広告規制
・限定的なPRでは認知度が上がらず販売の低下



・安全性・効果/効能への疑問
・検証不足・消費者のリスク
・企業イメージ低下

そこで、製品の価値を正しく評価できる実績とノウハウのある私たちが、商品開発の段階からプロモーションまでを、科学的知見に基づいた裏付けあるデータでお支え致します。医療分野での高い水準だからこそ信頼性も高く、企業の信頼性や透明性の向上に貢献できます。





臨床研究のパイオニアとして

私たち相生会グループは、幅広い分野において、あらゆる領域の専門医と経験豊富なコ・メディカルスタッフが一丸となって、エビデンス取得のための適切な臨床研究について、可能な限りご支援させていただきます。

お問い合わせはこちら 〉

➡ QRコードより相生会コーポレートサイトのお問い合わせフォームへ